

# 【公募情報】平成 28 年度 日本医療研究開発機構 (AMED)「医薬品等規制調和・評価研究事業(平成 28 年 度 1 次公募)」公募について

平成 27 年 12 月 8 日

信濃町地区研究者各位

信濃町キャンパス 学術研究支援課

【公募情報】平成 28 年度 日本医療研究開発機構(AMED)「医薬品等規制調和・評価  
研究事業(平成 28 年度 1 次公募)」公募について

12 月 7 日付で平成 28 年度「医薬品等規制調和・評価研究事業(平成 28 年度 1 次  
公募)」について新規課題が公募されました。

ご応募を検討されている研究者におかれましては下記照会先までご一報くださいま  
すようお願いいたします。

(1)応募意思の申し出締切:【平成 27 年 12 月 28 日(月)】

(2)応募書類一式提出締切:【平成 28 年 1 月 5 日(火)】

## 【注意点】

- ・ 本学で応募が可能な方は、本学と雇用関係のある”常勤”の研究者となります。
- ・ 機関を対象としての公募であり、申請は代表機関の長が行うこととなります。
- ・ 提案書の提出方法:【e-rad】

医薬品等規制調和・評価研究事業(平成 28 年度 1 次公募)

<http://www.amed.go.jp/koubo/050220151207.html>[外部ページ]

—公募概要—

医薬品等規制調和・評価研究事業(平成 28 年度 1 次公募)

【提出期間】平成 27 年 12 月 7 日～平成 28 年 1 月 15 日(金)(12:00)

【採択課題数】各課題 0～1 課題程度 ※課題 17 のみ 1 課題

【研究開発課題(17 課題)】

(目標、求められる成果、採択条件については、公募要領 p61-p77 参照)

1. 医薬品品質保証システムの国際的な進歩に対応した日本薬局方の改正のための研究

[研究費の規模:430 万円/年(間接経費を含む)、研究実施予定期間:最長 3 年間]

2. 医療用医薬品の生物学的同等性評価手法に関する研究

[研究費の規模:320 万円/年(間接経費を含む)、研究実施予定期間:最長 3 年間]

3. 医薬品等の安全性評価に関する in vitro 試験(代替法)の開発、国際標準化及び普及促進に関する研究

[研究費の規模:900 万円/年(間接経費を含む)、研究実施予定期間:最長 3 年間]

4. 薬剤疫学データベースを用いた医薬品副作用の発現頻度に係る民族差に関する研究

[研究費の規模:300 万円/年(間接経費を含む)、研究実施予定期間:最長 3 年間]

5. 化粧品・医薬部外品中の微量不純物の分析法開発と原料規格の設定に関する研究

[研究費の規模:410 万円/年(間接経費を含む)、研究実施予定期間:最長 3 年間]

6. 医療機器の治験症例数等に関する治験ガイダンスのあり方に関する調査研究

[研究費の規模:400 万円/年(間接経費を含む)、研究実施予定期間:1 年間]

7. 医薬品服用による自動車運転に与える影響の評価方法に関する研究

[研究費の規模:100 万円/年(間接経費を含む)、研究実施予定期間:最長 3 年間]

8. 患者に対してセンシティブな内容(性交渉や避妊等)を説明する医療従事者向け教育プログラムの策定に関する研究

[研究費の規模:500 万円/年(間接経費を含む)、研究実施予定期間:最長 3 年間]

9. サリドマイド等が胎児に及ぼす影響の評価に関する研究

[研究費の規模:400 万円/年(間接経費を含む)、研究実施予定期間:1 年間]

10. 患者の自覚症状により副作用の早期発見を可能とする方策に関する研究

[研究費の規模:380 万円/年(間接経費を含む)、研究実施予定期間:最長 3 年間]

11. インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に係る全国的な動向に関する研究

[研究費の規模:550 万円/年(間接経費を含む)、研究実施予定期間:最長 3 年間]

12. 医薬品の外観類似による医薬品事故防止のための標準的医薬品画像データベースの構築に関する研究

[研究費の規模:100万円/年(間接経費を含む)、研究実施予定期間:最長2年間]

13. 医療機器の材質における薬剤との相互作用に関する研究

[研究費の規模:1100万円/年(間接経費を含む)、研究実施予定期間:最長3年間]

14. 医療機器の不具合用語集の維持管理及び利活用のあり方に関する研究

[研究費の規模:500万円/年(間接経費を含む)、研究実施予定期間:最長3年間]

15. 化粧品等のアレルギー確認方法確立に関する研究

[研究費の規模:300万円/年(間接経費を含む)、研究実施予定期間:最長3年間]

16. MID-NETを用いた医薬品等のベネフィット・リスク評価のためのデータ標準化の普及に関する研究

[研究費の規模:1000万円/年(間接経費を含む)、研究実施予定期間:最長3年間]

17. さらなる適正使用に向けた、血液製剤の使用と輸血療法の実施に関する研究

[研究費の規模:1000万円/年(間接経費を含む)、研究実施予定期間:最長3年間]

#### 【若手研究者の登用推進】

- ・若手研究者(条件は公募要領 p13 参照)の登用を支援する。
- ・若手研究者の登用を希望する際は、研究開発提案書(様式1)「18. 研究者育成について」にその旨を明示し、指定の履歴書(別添様式1)及び若手研究者育成計画書(別添様式2)を提出。
- ・平成28年度の若手研究者登用は、1採択課題あたり1名程度
- ・若手研究者の登用に要する経費は年間600万円(間接経費を含む。)を上限として、基本経費と合算して支給。

担当(照会先):信濃町キャンパス 学術研究支援課 AMED 担当

メール:amed-shinano@adst.keio.ac.jp